

## NPOそばネットジャパン

令和2年度交流事業 そば栽培体験プログラム 第1回「みんなで種まき」

自ら「ソバ」の栽培体験を通して、「ソバ」がどのように育ち、どのように「そば粉」として扱われていくのか？ 種まきから収穫・製粉まで一連の作業を経験する事により、「そば粉」の貴重さ、大切さの意味を理解し、知識と共に本当の意味でのそばロスZEROに迫りたい。

そば打ち仲間との交流・親睦、さらには休耕地を活用した地域農業振興への寄与、はたまた地産地消の実践という観点からも、この体験プログラムの継続発展を目指すもので、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながらの開催となりました。

**圃場** 埼玉県桶川市加納 681 番地先の休耕地

樋口正一氏（そばネットジャパン団体正会員・圏央手打そばクラブ会長）が環境整備として桶川市から管理を依頼されている圃場の一部 5アール

第1回 種まき

8月8日（土） 午前10時集合

参加者 会員と家族 35名 種の品種 常陸秋そば 3400g 1さく 100g

梅雨明けの好天とはいっても、猛暑日の予報もあり手際よく作業を進めるため、樋口氏がさく切りまでは済ませてあり、参加者は割り振られた番号の“さく”に種を蒔くことから始めました。



木陰の下で作業説明、全員マスク着用で、説明も大声を出さずに済むようにハンドマイクを使用する。



まずは、樋口氏が種まきのコツを実演する。手まきは平均的にまくのが難しそうだ。



さあ、それぞれ割り当てられた“さく”に種まきです。30メートルの“さく”でもなかなか大変です。



小学生も両親と一緒に丁寧に種をまいています。

一人一人の“さく”が決まっているので、どのような状態で発芽するかが明確に分かります。

したがって、除草には早いですが2週間後の23日（日）10時に発芽状況確認で集合することとなりました。

さて……結果が楽しみです。

## 第2回 8月22日(土) 発芽確認会



2週間後、一人1柵蒔いたのが蒔き方で差があるようですが、綺麗に発芽していました。

みずみずしくて元気いっぱいです。これをお浸しで食べてもおいしいですね。

## 第3回 9月5日(土) お花見会



一面見事な開花です。満月の晩に花見がしたかった。

参加者は樋口リーダーから、蕎麦の開花の受粉、結実の仕組みなどから今後の作業計画等の講義を受け、次回刈入れ時の再会を期して解散となりました。

第 4 回 10 月 18 日(日)刈り入れ会



前日が 1 日中雨で、心配されましたが今日は快晴！！  
そば畑はすくすくと育って刈入れを待っていました。

種を蒔いて 78 日目、このとおり上部まで黒く熟して、今日が刈入れの限界かもしれません。



まずは、圏央手打そばクラブ会長樋口氏の刈入れの指導です。

さあ！刈入れだ！！  
皆さん、なかなか手際がいいですね。



約 1 時間半、畑の 3 分の 1 ほどを刈り、島立てにして、今日の作業を終了。  
1 週間後に、くるり棒で古式脱穀、唐箕で実とゴミを選別します。  
残り、機械蒔きの部分は次週にコンバインで刈入れます。  
そば畑の隣のマリーゴールドが作業の疲れを癒してくれました。